

令和4年度全国学力・学習状況調査公表について

一学期に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数・理科）についてお知らせします。この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

なお、6年生には個人の結果を示した個票を配付しますが、学力の一部の結果としてお子様の実態をとらえ、ご家庭で働きかける一つの資料としてお考え下さい。

国語

国語は、全国平均とほぼ同じでした。「読むこと」では、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基にとらえる問題はよくできています。一方、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の漢字の問題、「話すこと・聞くこと」の、自分の考えを文章にまとめる問題に課題があります。これは、基本的な漢字の定着ができていない、自分の考えをもたずに学習に参加していることが原因であると考えます。

算数

算数は、全国平均とほぼ同じでした。特に「変化と関係」「図形」では、百分率で表された割合を分数で表す問題、示された作図の手順を基にその図形が平行四辺形であることを判断する問題はよくできています。一方で、「数と計算」では、かけられる数に空位のある乗法の計算、二つの数の最小公倍数を求める問題に課題が見られました。計算についての基礎的な知識が十分でないと考えます。

理科

理科は、全国平均とほぼ同じでした。特に、実験で得た結果を分析し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題はよくできています。一方で、他者の予想を基に夜の気温の変化を見通す問題に課題が見られました。友達の見解を取り入れ、自分の考えを再構築する力が十分でないと考えます。

児童質問紙（生活や学習についての意識調査）※主な項目を抜粋

- ◇夢や目標をもっている児童の割合が県や全国よりも高く、将来の自分を見据えて生活していることがわかります。
- ◆自尊感情の高い児童の割合が低く、自分のよさに気付いていないようです。また、家庭学習を1時間以上している子どもの割合も低かったです。

今後の取り組み・ご家庭へのお願い

○学校の取り組み

- ◆国語の結果から見える課題については、基本的な漢字の定着が不十分であること、自分の考えを文章にまとめる力に課題が見られました。課題解決のために、まず、自分の考えをもつことから始めていきます。
- ◆算数の結果から見える課題については、基礎・基本の問題の定着が不十分であり、がんばりタイム（基礎・基本の定着をねらった習熟タイム）やタブレットを使い、自分の苦手とする問題にさかのぼって復習することから始めていきます。
- ◆理科の結果から見える課題については、実験の結果や考察を友だちと話し合い、自分の考えをつくる活動を充実させます。
- ◆児童質問紙の結果から見える課題については、児童一人一人に対する子への指導をより一層心がけ、児童に対する個別の面談を行い、児童理解を確実に行っていきます。また、自尊感情を高めるために学級活動や委員会活動の活性化を図り、よさを認め合える関係を作ります。

○ご家庭へのお願い

- ・国語については、漢字が正しく書けているか、雑になっていないかの見守りをお願いいたします。また、家族での会話の中で、「あなたは思う？」と投げかけてみてください。
- ・算数については、宿題の見守りをお願いします。又、日常生活の中で、「いくらになる？」「何割引き？」などと問いかけてみてください。お子様の頑張りを見て、励ましていただきますようお願いいたします。
- ・自尊感情については、いろいろなことにチャレンジさせ、できたらほめることをお願いいたします。